



越谷市議会議員

福田あきら

活動報告レポート『GET GOAL!』No.15 2015年新春号

〒343-0046越谷市弥栄町4-1-120

TEL/ FAX048-978-3335

Mali info@akira-fukuda.com HP http://akira-fukuda.com



※本活動報告レポートは、福田あきら自身が構成(文書/デザイン)をすべて担当しており、最小限の費用にて作成しています。(IT企業出身である強みを活かしています)

スポーツで地域の活性化&1期目の総括

皆様からご指導ご鞭撻を頂きながら日々市議会議員として奮闘させて頂いております。気が付くと議員にならせて頂きすでに3年8か月が経過しており、残す任期もあと約4ヶ月となりました。そこでこの度は、12月定例議会の報告と市議会議員となって1期目(約4年間)の主な活動内容についての報告をさせていただきます。

12月定例議会 一般質問から

1. スポーツ環境の拡充について

私は、昔からサッカーというスポーツに関わってきました。今でも指導者として週2~3回中学生を教えています。長年スポーツに関わってきた経験上、スポーツをすることによって得られる「健康」「教育」「コミュニケーション」等の効果を知っています。だからこそ、市民の方々が思いっきりスポーツを楽しむことが出来る環境を整えることによって「スポーツによる地域の活性化」ができると考えています。この度の議会では、グラウンドゴルフ、サッカー、ソフトボール、ラグビーなどが出来る人工芝のグラウンドの整備を提案させて頂きました。もちろん多大の費用が掛かることなので、「単純にグラウンドを作ってください」という願いをするつもりはありません。スポーツ振興くじの補助金を利用した整備、文教大学との連携や既存のグラウンドの改修など出来るだけ費用をかけない具体的な提案をさせて頂きました。市長からは、今後体育施設の全体的な整備の中で検討していきたいとの答弁がありました。



(高崎市にスポーツ振興くじを利用した人工芝のグラウンド整備について調査に行きました。)

2. ミニバスの試験運行(条件変更)について



(新方地区を試験運行しているミニバス)

2014年9月1日から6ヶ月間、新方地区にて試験運行をするミニバスですが、すでに3か月(質問時)が終了しました。尚、このミニバスの試験運行は、越谷市の公共交通不便地域解消を実現する今後の施策に必要なデータ収集を目的としています。

事前に地域の皆さんからの意見を聞きながら始めた試験運行ですが、私は3か月の間に市民の皆さんから、様々な条件変更についての意見をお聞きしました。その中で特に声が多かった下記3つについて質問しました。

①金額 片道一律300円から200円に変更

②時間 始まりを一時間早く、終了を一時間遅く

③停留所 せんげん台駅前大型スーパー近くに停車

市長からは、途中で条件変更は難しく、6ヶ月間という期間によって安定したデータ収集をしたいとの答弁がありました。私は、条件を変更した場合の試験運行により、更に市民ニーズに近い条件下でのデータ収集をしたほうが、今後の事業の展開には役に立つとの立場でしたので残念です。

12月定例議会 議員提出議案から

⇒「空き家等の適正管理に関する条例」制定

空き家やゴミ屋敷が社会問題になっている現在、私にも多くの市民相談が寄せられています。この問題は、法律上「個人の権利と行政の介入との関係」の線引きが非常にむずかしく、対応にも大変多くの時間と労力がかかります。そんな状況をすこしでも解決しようと越谷市議会では、適正な管理が行われていない空き家が放置されることを防止し、安全・安心なまちづくりを進めるため「空き家等対策検討特別委員会」を設置し、管理不全な空き家の問題に対処するための条例提案に向けて検討を進めてきました。特別委員会において作成した条例案について、パブリックコメントの募集などを経て、この度の12月議会にて「越谷市空き家等の適正管理に関する条例」が制定されました。議員提出議案にて本条例が制定されたことは、今後の議会の取組においても大きな前進です。

12月定例議会 請願から

⇒『越谷市議会ホームページにて委員会書記録の公開を求める件』⇒不採択

前回の9月議会には市民請願として「より一層市民に開かれた議会の推進を求める件」が提出されました。これは委員会のインターネット中継や議事録の作成公表などを求めるものでしたが、残念ながら不採択(否決)となりました。(私は賛成の立場)この度は9月の請願の結果に対して、越谷市議会の情報公開に対する考えに疑問をもつ立場の市民の方から(9月請願とは別の方)の請願として「越谷市議会ホームページにて委員会書記録の公開を求める件」が12月議会に提出されました。本請願の内容は、現在作成済で議会事務局に訪問すればもらえる委員会の書記録をホームページで公開してほしいという非常にシンプルなものでした。もちろん「可能な限りの情報は公開すべき」という考えの私は賛成しましたが、結果は大変残念ながら不採択となりました。私は、質問と討論で下記①~⑤の主旨のことを述べさせて頂きました。

- ①現状すでに作成および公開(議会事務局に要求すればもらえる)されているものを、簡単にホームページで閲覧できるようにすることは、働く人、子育てをしている人、そしてご老人など移動が困難な人も、容易に市政に参加できるようになり多くの市民に利点がある
 - ②書記録(要点筆記)は議事録と違いすべてのことが記載されているわけではなく、誤解が発生するとの意見もあるが、議会のルールブックとも言える先例集で書記録は議事録に変わるものと認められており問題はない。だから現在でも議会事務局に要求すれば取得できるものであり、ホームページで公開しても全く問題はない。むしろ手渡しであればOKで、ホームページでの公開は問題があるというのは理由にならない。また、書記録より更に要約されている「議会だより」などは全戸配付もされており、必要性によって情報公開度のレベルの差はあっても問題ないと考える。
 - ③議会のことは責任をもって議会が決める必要があるというのは、もっともな意見だが議会のルールはすべて議会が決めるので、請願は反対であるという意見が成立すれば、議会のルールに対しての市民請願権を否定することになると同時に、なんでもこの建前で、請願が否決できることになってしまう。
 - ④お金もほとんどかからない。
 - ⑤書記録の公開と今検討中のライブ中継が同時に展開されれば、尚情報公開が進む。
- 私からすれば本請願には反対に値する理由がないだけに、この不採択の結果にはがっかりです。

※この度の活動報告レポートでは、記事のボリュームの都合により、毎号掲載している「政策工程表」については省略させていただきます。

福田あきら(39歳)プロフィール

【所属党派】民主党・市民ネットワーク

【常任委員会】民生常任委員会

【その他役割】議会運営委員会、土地開発公社監事、越谷・松伏水道企業団

1975年越谷市に生まれる(昭和50年5月28日生まれ)

1982年清浄院幼稚園卒園

1988年越谷市立桜井南小学校卒業

1991年越谷市立越谷北中学校卒業

1994年埼玉県立越谷北高等学校理数科卒業

1998年法政大学法学部法律学科卒業

2000年現・伊藤忠テクノソリューションズ(株)入社

⇒IT企業のサラリーマンとして10年勤務

2011年越谷市議会選挙に挑戦し当選

●資格基本情報技術者/宅地建物取引主任者等

●家族妻と長男、次男、チワワ2匹

●サッカー選手としての経歴

・越谷フットボールクラブ(小学校1年~6年/社会人)

・水戸ホーリーホック【現Jリーグ2部】

・全国社会人サッカー選手権大会優勝

福島/広島国民体育大会(国体)サッカー優勝

など三度の日本一を経験

・現在、越谷市サッカー協会副会長を拝命

★電話による市民相談窓口 048-978-3335

基本:平日10:00~18:00大変恐縮ですが、番号通知(表示)がある方のみの方の対応となります。もし留守電の場合は要件を録音願います。確認後、折り返し連絡させていただきます。

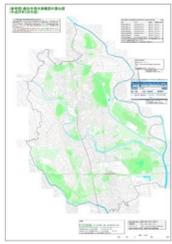


地域に根ざしたまちづくりを目指した4年間(主な取組みと実績)

災害対策(特に水害対策)の強化

2013年10月に発生した台風26号は、多くの道路冠水や床上/床下浸水の被害をもたらしました。私自身も長年、水害に悩まされている地域に住んでいるため、この問題には特に力をいれて取り組みました。**地域住民100人の声を聞いた要望書(政策提言)の提出や一般質問での具体的な詳細な提案、そして地域の方と多くの点で協力した結果、異例とも言えるほど多くの提案が採用されました。**その一部を紹介します。また今後もこの治水(大雨洪水/ゲリラ豪雨)対策には継続して取り組んでいきたいと思ひます。

- ①内水ハザードマップの作成と公開
- ②排水ポンプ場の稼働ランプの設置



- ③排水機器の増強
移動式応急排水ポンプでの対応



- ④その他の提案
 - ・排水機器等の技術者の育成と体制の強化
 - ・排水機器等の点検(事前稼働テスト)の強化等

超高齢社会におけるまちづくり

①公共交通不便地域の改善(ミニバス)

一般質問では継続して本問題を取り上げ、また公共交通網整備推進特別委員会のメンバーとして公共交通の不便地域解消のための提言も作成しました。その結果、越谷市で初の試みとなるミニバス試験運行の実施に至りました。

今後は、本番運行に至るよう、更なる進展に全力を尽くします。(取り組みは表面も参照願います)



超高齢社会に対応したまちづくり

③ごみの収集問題を考える

超高齢社会のなか、「ゴミの当番で収集かごを集積所まで持っていくことが困難である。またゴミ自体を集積所まで持っていくことが困難である」という方が増えているという問題が発生しています。その対応に先手を打つべく下記3点から改善の可能性を追求しました。①「収集かご」を改良する ②「収集かご」の配付および回収を市もしくは委託業者が実施する ③ごみの戸別収集を市もしくは業者が実施する。結論はすぐに出ませんが、先を見通しながら今後も対策の検討を続けていきたいと思ひます。



教育環境の改善

- ①小中学校のトイレ洋式化の促進
- ②小中学校のエアコン導入の促進

一般の家のトイレはほとんどが洋式です。しかし学校のトイレはまだ和式が多い状況です。小さなことのように見えますが、和式トイレを利用したことのない子どもにとっては深刻な問題です。また現在の夏の暑さは昔とは比べものになりません。猛暑の中、勉強に集中できない、また体調不良を訴える子どもが増えています。子どもが多くの時間を過ごす学校は、できるだけ快適な環境が必要と考え、継続した予算要望や一般質問など、この問題に積極的に取り組みました。こうした継続した努力が実り、高橋市長の選挙公約にあげられ、高橋市長が当選した結果大きく進捗する成果がありました。



超高齢社会に対応したまちづくり

②新方川沿いの土手に手すりを設置

地域の方から、新方川土手沿いの階段が急であり、上り下りをするのに危険なため、ぜひとも手すりをつけてほしいとの要望を多く頂いていました。私は、地元連合自治会の皆様と協力して地域の意見を集約し下記2つの理由をあげ、一般質問で行政に手すりの設置を求めてきました。

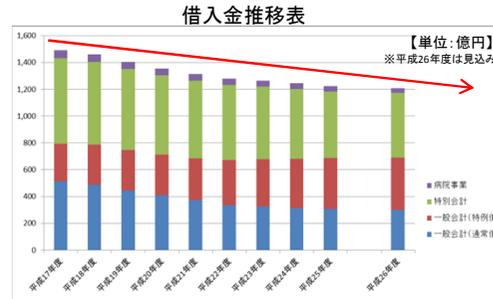
- ①土手の上と大吉調整池の周りが散歩コースになっているため健康増進に寄与する
 - ②災害時、建物の倒壊を想定したときに土手の道は避難経路になる可能性があるため、お年寄りでも階段を容易に上がれることが必要
- 私の一般質問に対して市長が設置を答弁され実現に至りました。



(2014年度に2ヶ所設置されました。2015年度も2ヶ所設置予定です。)

財政規律の強化(次世代の負担減へ)

経年に伴って借金の推移を常にチェックしています。前年度より減少していることを最低条件として確認しているほか、事業における「選択と集中」および「効率化と広域化」など、コスト削減のための具体的な提案を続けています。



市政を身近に! 多くの情報発信(駅頭・市政報告会・ブログ)

駅頭での情報発信をはじめ、個人での報告会、会派での報告会、そして議員有志メンバーでの報告会など、多くの場で報告会を実施しました。時には、きびしいご意見を頂くこともありますが、私の目指している「地域に根ざしたまちづくり」は、市民の皆様との対話なしには実施することはできないと考えています。これからも継続して実施していきますので、どうぞ気軽に参加していただければと思います。また私は議員になってから毎日に近い頻度でブログにて情報を発信しています。市議会議員の日常活動、議会活動(一般質問・議案)、行政調査など活動レポートだけでは書ききれない情報が満載です。ぜひ読んでいただくと幸いです。



(駅頭にて市政報告)

ブログ「福田あきららの政治家日記」随時更新中
http://akira-fukuda.com/
チェック!

会派活動 ①毎年の予算要望書の提出

②政策提言書の提出③議会ごとの報告会の実施



(毎年予算要望書を市長に提出)

(会派報告会の様子)

主な一般質問/予算・決算委員会質疑

- ◆地域活性化/市民参加/自治会
 - ・地域市民活動(自治会/子ども会等)の活性化について
 - ・地域ブランド(越谷ブランド)について
 - ・スポーツ環境の拡充について
 - ・市民参加による課題解決(オープンデータの取組)の推進について
 - ・若い世代を本市に呼び込むための施策について
- ◆災害対策
 - ・治水対策の強化について
 - ⇒ポンプの増強等による排水能力向上について
 - ⇒体制の確保と技術員の教育について
 - ⇒内水ハザードマップの作成について
 - ⇒貯水機能をもった公園等の設置について
 - ⇒情報収集および避難勧告などの情報発信と伝達について
 - ⇒組織間連携・住民との連携について
 - ⇒河川防災ステーションの役割について
 - ⇒内水対策事業の実施状況と総合治水マスタープランについて
 - ・豪雪対策について
 - ・情報システムの災害対策について
 - ・災害ごみ置場のリスト化、応急住宅用仮設用地の確保について
 - ・文書保管(専用倉庫)の防災対策および文書の廃棄ルールについて
 - ・自主防災組織をネットワーク化する考えについて
- ◆教育/保育
 - ・小中学校における教育環境の整備について
 - ⇒エアコンの設置について/トイレの洋式化について
 - ・病後児保育室における他市との共同経営について
 - ・保育所整備単価を縮減し、整備数を増やす考え方について
 - ・認可保育園と家庭保育園の格差について
 - ・越谷市のICTを活用した教育の実績、効果と今後の計画について
 - ・インターネットでのいじめとネット依存の対策について
- ◆農業/産業/就労
 - ・農業従事・後継者育成事業の成果について
 - ・農業支援ネットワークづくりの成果について
 - ・集团的いちご観光事業について目指す規模と今後の戦略について
 - ・障がい者就労支援の成果と課題について
- ◆建設/環境/総務全般
 - ・駅前における分煙の取組強化について
 - ・交通安全施設整備についての対応状況と優先順位について
 - ・公用車購入台数に際しての適正台数の把握について
- ◆公共交通網整備
 - ・公共交通網の整備、拡充と県道平方東京線の拡張について
- ◆高齢社会/民生関連
 - ・超高齢社会におけるごみの収集方法について
 - ・河川沿いの階段に手すりを整備する考えについて
 - ・民生委員の負担と中核市になった際の増員について
 - ・増え続ける生活保護費について
- ◆医療/病院/国民健康保険
 - ・増え続ける高度高額療養費について
 - ・医者・看護師とベットの数の適正バランスについて
 - ・定数増に伴う医師等の確保の見込みと、収益増の方向性について
 - ・子宮頸がんワクチンにおいて越谷での副作用の把握と対応について
 - ・中期経営計画にある12時間交代制についての取組みについて
 - ・外来看護師と病棟看護師の効率的な一元管理の手法について
 - ・レセプト点検事務の成果について
- ◆消防
 - ・消防団器具置場の整備について
 - ・消防団員の高齢化と新たな団員の確保について
 - ・大学と協力した学生消防団設立の検討について
 - ・電子地図に消火栓や防火水槽の設置場所の表示することについて
- ◆財政全般
 - ・超高齢社会・人口減少社会における財政規律について
 - ・将来負担比率低減について
 - ・不正防止の取組について
 - ・一括購買等によりコスト削減について
 - ・市内特定会社への財政面での依存度について
 - ・個別契約から一括契約への変更などの契約見直しについて
 - ・敬老祝い金の今後の考え方について